

令和4年度第1回学校運営協議会・コンプライアンス委員会議事録

令和4年5月19日(木) 9:30~11:00

天竜特別支援学校 視聴覚室

1 出席者

(1) 委員

尾関ゆかり氏、石田雄士氏、池田雅子氏、出沢茂氏、坪井康人氏、奈良志保氏

(2) 学校関係者

校長、副校長、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、訪問主任、教務課長

2 内容

(1) 校長挨拶

- ・本年度から学校運営協議会としてスタートした。地域の方々から御意見をいただき、学校運営に生かしたい。
- ・高校と特別支援学校の連携は、県内の高校の30%である。県教育委員会特別支援教育課で高等学校全職員に配付したセンター的機能のパンフレットを紹介した。
- ・今年度、静岡県教育員会で目指している「誰一人取り残さない教育の実践」を本校でも行っていきたい。

(2) 学校運営協議会委員の委嘱

(3) 自己紹介、会長・副会長の選出

会長…坪井氏、副会長…石田氏 ※承認

(4) 令和4年度学校経営計画、各学部の取組について(校長、各部主事・訪問主任)

- ・児童生徒数、教職員数の報告
- ・学校経営計画の説明
 - 「守る」…人権(道德教育)教育と学校安全を重視
 - 「育む」…教職員の病弱教育専門性(県内唯一の病弱特別支援学校)の向上、OJTの取組、ICT機器の活用、主体的対話的で深い学びのある授業
 - 「つなげる」…センター的機能(発信元として)、みゅうの丘との連携、地域資源の活用
 - 「チーム」…全職員が同じ方向を向いていく。
- ・学部等の取組紹介
 - 小学部…様々な特性のある児童のため、学習の基本を押さえた学習を行っていく。本校でできることが目的ではなく、地域の学校で生活できる児童を育てることを重視している。原籍校と連携をしっかりとしていきたい。
 - 中学部…年齢とともに実態差は大きくなっていくため、実態に合ったスモールステップの指導を行っている。人とのやり取りが苦手な生徒が多いため、困り感を引き出し、解決法を見出す。

高等部…本年度 27 名でスタート。自分のできることや苦手なことを学校生活で試し、自信をもって社会参加できる人を育てていきたい。大き過ぎない集団のため、積極的に活動できる生徒が増えている。R3 年度の進路先紹介。

訪問教育…本年度 14 名。一人ひとりの命の輝きを大切にしている。

3 授業参観

4 意見交換

委員 A…センター的機能について、県立と市立の垣根があるかと思うが、小中学校の教職員への助言ができることよい。今後、お願いすることがあるかと思う。

学校…学校から要請があれば職員を派遣している。

学校…巡回相談、移行支援会議等も市教委を通して行っている。

委員 B…県下唯一の病弱特別支援学校だと思うが、県下の広域に渡って何か支援をしているのか。

学校…それぞれの地域の特別支援学校がその役目を担っている。

委員 B…チームの残業 100%というのはどういう意味か。

学校…自分が設定した退勤時刻に 80%退庁できた職員が 100%になるように考えている。

委員 B…浜松市外の児童生徒は、どのように登校しているのか。

学校…小中学部は天竜病院に入院している児童生徒が通っている。

委員 C…5 病棟は、多様化している状況に対応するために、「こどもの心のケアセンター」と改名した。本校へ通う児童生徒も多様化していく模様である。任天堂 Switch の購入について病院内で検討中。

委員 D…原籍校に戻った後の課題もあるかと思う。本校での学習が戻った後の学習に繋がっている。原籍校の人との関わりについてはどうなのか。自立活動の学習は、どんなことをしているのか。

学校…数か月の入院ではすべてを補てんできないのが現実。リピーターがいるのも事実。学習空白が長すぎて、本校の学習に臨めないことが多い。よって原籍校との連携を大切にしている。自立活動では、うまく言葉で伝えられないので、手が出てしまう(暴言暴力)。クールダウン等の対処法の練習をし、その内容を原籍校と情報共有している。

学校…小学部とほぼ同様。自立活動は、生徒の実態によってグループを変更して行っている。学習については、すべてを補てんすることは不可能と生徒保護者にも伝えている。原籍校には、どのような方法で学習保証ができるかを視点に、移行支援を行ったり、情報共有をしたりしている。対人関係は、最初は教員が間に入って調整したり、言い方を伝えたりして伝える方法を学んでいる。

委員D…学び方の基礎を知らない児童生徒が多いと思うが、児童生徒の「学び方」についてはどんな取組をしているか。

学校…病院で行った発達検査の結果分析を基に、個に合った学び方のスキルを工夫し、身に付くように指導している。

委員E…様々な児童生徒がいる中で、先生方の御苦勞を感じた。クールダウンスペースの使い方を教えていただきたい。クールダウンの際には教員は必ず付くのか。

学校…人それぞれのクールダウンの方法がある。生徒同士でクールダウンの方法を共有したり、グッズを紹介したりしている。落ち着かない生徒への対応については、必ず教員がつくようにしている。

委員F…きめ細かい指導をしてくださり、安心して子供を送り出せる。クールダウンスペースがあることがよい。

5 コンプライアンス委員会

(1) 令和4年度不祥事根絶取組計画について

- ・4月に県内教職員の不祥事が多発→校内研修を実施した。
不祥事を起こさないため、教職員のストレスをなるべくためないように、風通し委のよい職場を目指している。
- ・小学部…「対話をしましょう。愚痴を言いましょう。」と伝え、ブロック長会議で職員の状況を確認している。
- ・中学部…無事故無違反を目指して、月1回の自己目標を設定している。
学部会で行動規範を音読し、公務員としての適切な行動を確認した。
学年主任会で学年職員の状況を確認している。
- ・高等部…職員の退勤時間をお互いに確認し、お互いの業務を知るようにしている。
ゆとりを持って業務に当たれるようにしていく。

(2) 意見交換

委員D…職員の間関係づくりが大切である。

委員B…外の目が入りにくい環境になっているので、できるだけ外の目を大切にしていってほしい。来校ができない状況で電話での報告が増えているため、本当に重要なことを適切に伝えられていないことがある。本当に気を付けなければいけないこととは一体何かを明確にしておく必要がある。

学校…人間関係づくりではコロナの影響を受けているが、with コロナの中で何ができるかを考えていきたい。